2026年10月28日

各位

会社名　株式会社トライアイズ
代表者　代表取締役社長　岩尾 俊兵
（コード4840　東証スタンダード）
問合せ先　取締役 COO 兼 CTO 小林 尚生
電話　03(3221)0211

株式会社コーピーが発行するJ-KISS型新株予約権の取得に関するお知らせ

当社は、2026年６月22日に業務提携の開始を公表した株式会社コーピー（以下「コーピー」といいます。）が発行する第５回J-KISS型新株予約権を取得することを決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．本件取得の背景及び目的

当社は、長年にわたり社会に価値を提供してきた老舗企業の事業をM&Aにより承継し、経営科学及び情報理工学を導入することで、次の100年の成長を実現する「100年企業継承カンパニー」戦略を掲げております。

2026年６月22日付「株式会社トライアイズ、株式会社コーピーとのフィジカルAI分野における将来的な資本提携の可能性を視野に入れた業務提携開始のお知らせ」にて公表したとおり、当社は、フィジカルAIをはじめとする高度なAIの研究開発・実装に加え、説明可能AI（XAI）やAI品質評価・検証（QAAI）に強みを有するコーピーとの間で、M&A実行、子会社PMI及びM&A関連システム開発全般におけるフィジカルAIの活用・開発を対象とした業務提携を開始しております。

コーピーは、製造業をはじめとする現場領域におけるAIの開発・運用・品質管理に強みを有しております。当社は、承継する企業の生産性・品質・収益性の向上や、M&A・PMI関連業務の高度化に向けて、両社の知見を組み合わせることを目指しております。

本件は、上記業務提携において将来的な可能性として公表していた資本面での連携を具体化するものであり、コーピーとの中長期的な関係の構築を通じて、当社グループの事業変革の推進につなげることを目的としております。

２．本件取得の内容

本件において取得するJ-KISS型新株予約権の概要は、次のとおりです。

（１）発行会社	株式会社コーピー
（２）新株予約権の名称	第５回J-KISS型新株予約権
（３）取得する新株予約権の数	10個
（４）新株予約権１個当たりの払込金額	1,000,000円
（５）取得価額の総額	10,000,000円

（注）本件は新株予約権の取得であり、取得時点でコーピーの株式を取得するものではありません。将来、株式に転換される場合の株式の種類及び数は、投資契約及び発行要項に定める条件に従って決定されます。

３．投資先の概要

（１）名称	株式会社コーピー（Corpy & Co., Inc.）
（２）所在地	東京都千代田区神田神保町 1-44-11
（３）代表者の役職・氏名	代表取締役　山元 浩平
（４）事業内容	ミッションクリティカル領域における AI の研究開発・実装、運用・品質評価及び AI プロダクトの提供
（５）設立年月日	2017 年３月６日
（６）資本金	3,100,000 円（2026 年２月 28 日現在）
（７）取引・協業実績	トヨタ自動車株式会社、株式会社アイシン、東日本旅客鉄道株式会社、信越化学工業株式会社、 JFE スチール株式会社、AGC 株式会社等
（８）当社との関係（本件取得前）	資本関係：当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。 人的関係：当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。 取引関係：当社は当該会社との間で、2026 年６月 22 日付で業務提携契約を締結しております。 関連当事者への該当状況：当該会社は当社の関連当事者には該当しません。

４．日程

（１）投資契約締結日	2026 年 10 月 28 日
（２）新株予約権の割当日・払込期日	2026 年 10 月 30 日（予定）

５．今後の見通し

本件が当社の 2026 年 12 月期連結業績に与える影響については、軽微であると見込んでおります。今後、公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

６．コーピーについて

コーピーは「ミッションクリティカル AI の実現」をビジョンに掲げ、製造、モビリティ、インフラなど、高い安全性と信頼性が求められる領域で AI の導入・運用を手がける AI スタートアップです。これまでにトヨタ自動車、東日本旅客鉄道、JFE スチール、信越化学をはじめとする各業界の企業や研究機関と、AI の開発・実装に取り組んでおります。

創立	従業員数	メンバーの国籍
2017 年	約 70 名	23 カ国



東京（本社）



名古屋



つくば

（1）コーピーの強み

コーピーは、実際のプロジェクトを通じて培った AI 技術を、再利用可能な技術アセットとして蓄積しております。AI の判断根拠を可視化する説明可能 AI（XAI）や、AI の品質を検証する AI 品質評価・検証（QAAI）の技術を有しており、現場ごとに必要な AI を効率的に開発するとともに、導入後の運用改善まで支援しております。

（2）主な取り組み

① 外観検査 AI

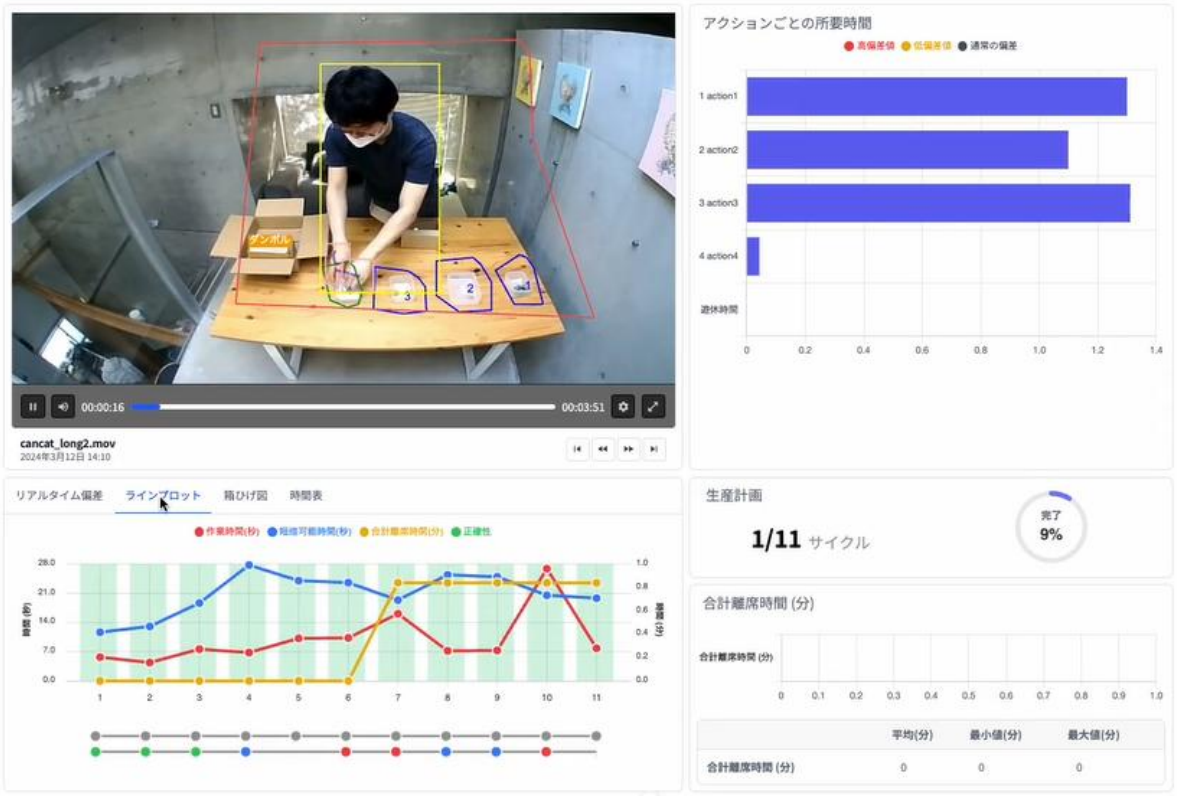
製造業向けに、データの整備から AI の構築、品質評価、運用管理までを一貫して提供しております。AI が注目した箇所をヒートマップで表示するため、検査担当者が判断の根拠を確認しながら AI を改善することができます。



外観検査 AI の画面（右側のヒートマップが AI の注目箇所）

② 作業者解析 AI

カメラ映像から工場内の作業者の動きを解析する AI です。サイクルタイムの把握や作業漏れの検知、作業マニュアルの作成などに活用されております。



作業者解析 AI の画面

③ フィジカル AI の開発(自動車、建機、産業用ロボット、防衛)

自動車、建設機械、産業用ロボット、防衛などを対象に、フィジカル AI の研究開発を支援しております。自動パーキング、自動運転、建機の自動化、ロボット作業の自動化など、実機での運用を見据えた AI の開発・実装に取り組んでおります。



周辺認識 AI による車線・車両の認識

④ フィジカル AI の検証

実環境を 3D で再現する自社シミュレーション環境を活用し、AI の学習・性能評価に取り組んでおります。車両の走行やロボットの作業動作を仮想環境で検証し、実機とシミュレーターを独立して動作させる技術も組み合わせ、多様な条件下での AI の評価・改善を支援しております。

⑤ 鉄道設備の異常検知

東日本旅客鉄道株式会社と、パンタグラフ監視カメラの画像から AI で損傷を検知するシステムを共同開発しており、2026 年 4 月より山手線で試行導入が開始されております。本取り組みは、JR 東日本スタートアッププログラムの DEMODAY において優秀賞を受賞しております。

⑥ AI の品質保証・監査

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の「AI の安全性確保に関する研究開発・検証等の推進事業／AI セーフティ強化に関する研究開発」において、「AI マネジメントシステムに基づく生成 AI 安全性評価プロトコルとその実装ガイド」を整備したほか、2026 年 4 月より国立研究開発法人産業技術総合研究所と「ISO/IEC 42001 を実運用で成立させるための AI 継続的監査支援技術」に関する共同研究を行っております。また、AI の運用記録をもとに監査を支援するプラットフォームの開発を進めております。

以上